

# 令和5年度 北区立滝野川紅葉中学校 学校経営計画

北区立滝野川紅葉中学校  
校長 浦山 裕志

## 学校経営の基本的な考え方

### 生徒の自尊感情・自己肯定感を育む学校づくり

未来を担う子どもたちが、一人一人の個性や能力を十分に発揮し、変化の激しい社会をたくましく生きる力を身につけ、人間性豊かな人として成長していくことは、子どもたちや保護者やもちろん、社会の発展を願う国民の期待でもあります。

教育の目的は、子どもたち一人一人の人格の完成と国家・社会の形成者の育成です。本校でもその具現化のために、教育目標として「学び考える人」「優しく心豊かな人」「鍛え努力する人」を掲げています。この教育目標は”育てたい生徒像”そのものでもあり、平成21年度に統合新校として開校した時の学校関係者の願いであると考えます。

中学校教育は義務教育9年間を完成させる役割を担っています。義務教育の大きな目的は、生徒の「社会的自立」にあります。そのためには、自らの生き方と人間としての在り方を学ばせ、未来への夢や希望をもち ころざし高く歩み続ける態度を育てることが重要です。

まずは基礎的・基本的な学力を身に付けさせて生徒に自信をもたせましょう。そして、諸活動を通じて他者とかかわる中で自らの価値を発見させましょう。授業の質を高めて学力を保障し、学校行事に生徒を参画させることをとおして、生徒の自尊感情・自己肯定感を育む学校づくりを学校経営の基本的な考え方とします。

## 1 目指す学校

「教育先進都市・北区」のさらなる充実・発展を目指すために策定する、『北区教育ビジョン2020』及び本校の教育目標を踏まえ、生徒・保護者の願いや地域の期待に応える学校を目指す。

教育目標	育てたい生徒像	1 学び考える人 【知】
		2 心優しく豊かな人 【徳】
		3 鍛え努力する人 【体】
目指す学校像	義務教育の大きな目的は、生徒の社会的自立にあります。そのためには、自らの生き方と人間としての在り方を学ばせ、未来への夢や希望をもち ころざし高く歩み続けようとする態度を3年間かけて育てることが重要です。生徒に分かる喜びやできる楽しさを味わわせ、自尊感情・自己肯定感を育みます。	
	1	生徒が生き生きと学習し、誇りをもてる学校
	2	教職員が組織として協働し、働きがいを感じられる学校
教目指す教師像	3	保護者、地域の方に子供の成長が見え、親しみをもたれる学校
	1	教職への使命感をもち、熱意と行動力で生徒と向き合う教師
	2	生涯を通じて学び続け、専門性を高める教師
	3	教育公務員としての職責を自覚し、組織的に協働する教師

## 2 中期的目標と方策

現行の学習指導要領の根拠となった中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校。高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策等について」（平成28年12月）の趣旨を踏まえ、今後数年間の目標を掲げます。

中期目標	1	生きて働く「知識・技能」の習得
	2	未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
	3	学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養
方策	知	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本を重視した分かる喜び、できる楽しさを味わわせる授業の実施</li> <li>○個別最適な学びと協働的な学びの実現</li> <li>○タブレット端末を活用した授業改善</li> <li>○家庭学習の充実</li> </ul>
	徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育の推進</li> <li>○「特別の教科 道徳」の授業の充実</li> <li>○学級活動、学校行事、生徒会活動、部活動を通じた規範意識と集団帰属意識の向上</li> <li>○家庭、地域、関係諸機関との連携</li> </ul>
	体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育健康教育の充実</li> <li>○テーマ性ある食育の推進</li> <li>○安全教育・防災教育の推進</li> </ul>

## 3 今年度の取り組み目標と方策

短期目標	教職員の人権感覚を高める	1	“きたコン”を活用した協働的な学びの場の創出
		2	生徒が主体的に参画する特別活動の推進
		3	多様性を認め合える学年・学級経営
		4	校務事務の効率化